

国民の安全・安心のために 輝く湘南の若者達

平塚自衛官募集相談員会 大貝 憲三

「国防を担う」という崇高な想いで自衛隊をめざす若者たちを励ます催しを、2月28日(土)に県内のトップをきって、平塚市教育会館で実施しました。昨年同様に平塚自衛官募集相談員が主催し、平塚地域事務所の平一義所長以下各広報官が中心となって、前日の夜から会場設営にあたり、国民の安心・安全のために瞳を輝かせている若者たちの旅立ちを、心をこめた手作りの激励会で祝福しました。

河野太郎衆議院議員をはじめ、平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町の市・町長や森正明県議会議員、各市町の議員や隊友会、父兄会の代表、海上自衛隊横須賀教育隊司令「柴田有二」一等海佐、神奈川地方協力本部長「高田 充」一等海佐など多数の来賓をお迎えして、厳粛な激励会となりました。

来賓の方々より、あたたかい励ましのことばもあって、参列された多くの保護者は安堵の表情を浮かべていられました。

式典では、陸上自衛隊座間駐屯地に所在する第4施設群より、男女2名のラッパ手が派遣され、開式のファンファーレをはじめ、起床から訓練、そして就寝までの自衛隊生活の様子を、ラッパ吹奏で演技してくれました。

又、先輩隊員からの激励では、秦野市出身で陸上自衛隊練馬駐屯地で勤務されている、第1師団司令部付隊「藤井理枝子陸士長」より「厳しい訓練もあるが、同期の仲間や親切な上司の方々の存在もあつたことや、任務で派

遣された際、その地域の方々より感謝のことばや励ましをいただき、力強く後押しされたことなどが聞かれた」などの体験談も披露され入隊・入校予定者と保護者の不安は打ち消されたようでした。

海上自衛隊横須賀教育隊の柴田司令からの5分前精神や、高田地方協力本部長の遠泳訓練などの話をわかりやすく説明されたので、入隊・入校者の表情は希望に向けて、輝いていました。

相談員会からの激励品「裁縫用具と自衛隊手帳」を手にした予定者の代表謝辞では「大好きな平和な日本を守る。愛する人々を守りたい。そのために訓練や職務に邁進していきます」と力強く宣言され、これまで育んでくれた保護者への感謝のことばも添えられました。

式典終了後、記念写真撮影に続いての懇親会食では、秦野市議会の阿蘇佳一議員の発声によるお茶での乾杯、そして赤飯中心の祝膳で、なごやかに旅立ちを祝いました。

激励会終了後、会場を後にする入隊・入校予定者やその家族の方々から、激励会実施に感謝することばをかけられ、手作りで準備をした募集相談員や地域事務所の平一義所長以下、広報官達の苦勞も報われました。

来年も、崇高な想いで自衛隊をめざす若者たちのために、充実した激励会が実施出来ればと考えています。

高等工科学校入校予定者からの手紙

神奈川地方協力本部厚木募集案内所(所長酒井一海尉)に、高等工科学校に入校予定の木暮貴晴君から手紙が届いた。

手紙には、「1年生の時から、とてもお世話になりました。自衛隊の行事見学や学校説明会、受験のアドバイスなど本当に様々なことをしていただきました。高等工科学校に入校後は、今まで以上に頑張り、将来は皆さんのように立派な自衛官になり、胸を張って再会したいと思います。本当にありがとうございました」と認められていた。

厚木募集案内所は、「今後、高等工科学校の魅力でPRし、優秀な人材を獲得していきたい」としている。

